



美しいまちで暮らそう

えにわ

花のまちづくりプラン

2018~2027

概要版

# 美しいまちとは どんなまちでしょう。



恵庭を花と緑いっぱいのまちにしよう。子どもたちのためにも、このまちをいつまでも愛着と誇りの持てるまちにしたい。そんな思いを出発点に1980年代からはじまった私たちの取り組みは、1998(平成10)年3月、最初の「花のまちづくりプラン」の策定に実を結びました。2008(平成20)年の改定を経て、プランはいま、さらに新たなステージに上ろうとしています。

ガーデンづくりは、私たちにたくさんのおかげと学びをもたらしました。植物たちのおかげで恵庭の気候風土に敏感になり、花を通して、家族のあいだやご近所との関わりが深まりました。そして新しい出会いが生まれ、ひとつの出会いにはさらにまた、国内外から新しい出会いをもたらしました。花に惹かれて市外からも多くの人々が訪れ、地域経済の新た

な種となりました。そしてそうした日々は私たちを、まちの成り立ちについてあらためて考えることにまで導いてくれました。毎日大切に手をかけるガーデンへの思いが、地域へ、通りへ、さらにはまち全体にも広がりはじめたのです。

花と緑によって、まちはさまざまな知恵や手法を身につけながら美しさを増していきました。しかしその取り組みがもたらしたのは、うわべの美しさの前に、さまざまな人が地域やまちに対して、自分の意志でより深く関わろうとする意識だったのかもしれない。美しさは、ものごとの外側を飾って生まれるものではなく、美しさは、心のありようとして結びついています。多くの人が「住んで良かった」という気持ちをもって住むまち。それが「美しいまち」なのだと思います。





# だから美しいまちを

## 目指したい。



イギリスには、「農民は国土の庭師である」ということわざがあります。風土を知り尽くし、大地に働きかけて豊かな収穫を安定してあげる農業生産者は、大切な国土を保全するガーデナーでもある、という意味です。ご存知のように恵庭は、全道有数の花苗の生産地であり続けています。花と緑を軸にしたまちづくりは、この生産の基盤があつてさらに価値を高めています。恵庭固有の風土を糧にした農業がつくる多様な景観は、他のどこでもない恵庭の大地に直結した表情が魅力です。まちの緑と農業環境を大きくひとつのつながりとして捉えることができるのも、恵庭ならではの個性と言えるでしょう。花のまちづくりは、市民と行政、そして農業生産者がそれぞれの立場と意思で協働することにより進められてきました。

世界にまったく同じ畑がひとつとして存在しないように、同じまちもありません。しかし、規模と効率を最優先する経済の論理によって、全国で同じようなまち並みが増え続けているのも事実でしょう。そこでの人々は、単にモノを消費するだけの、顔のない消費者になってしまっています。

美しいまちには、何より独自の個性と文化があります。自分たちの生活スタイルに誇りをもつことができれば、住む人々の表情もいきいきと輝くはず。自分たちのまちは、自分たちの手でつくり、育む。花と緑の取り組みによってそうした意識を強く持つようになった私たちは、新たな「えにわ花のまちづくりプラン」によって、このまちをさらに美しくしていきたいと願っています。



## 「プランの目標」

美しいまちで暮らそう。



美しいまちは、限られた専門家が一方的に提案する大きな計画がもたらすものではありません。それは、自発的な地域コミュニティが相互に影響しあうことで、暮らしの足元から生まれていきます。市民・行政・団体・企業が花と緑にあふれた美しい環境のあり方を議論し、協働で育むことで、人々がつながりあい触発しあう、次代に引き渡すに値する個性的なまちがつくられていきます。「花のまちづくり」を通して、まちの個性が持続的に磨かれ、それぞれのコミュニティに強くしなやかな命が通います。そこで人々は、世代を引き継ぎながら末長く心豊かに暮らすことができます。

## 「花のまちづくりの近未来」

まちには、花と緑にあふれた公共施設やショップや歩道があります。人々は季節を追ってガーデンを味わいながら、買い物やおしゃべりの時間をゆったりと楽しみます。まち並みと一体となった公園の緑陰では、幅広い世代が思い思いにくつろいでいます。そして「花のまち」は、なにより歩くことが楽しいまち。ここには、規模や効率を求めるばかりのまちとはちがう時間が流れて、行き交う人々の笑顔がすてきです。多くの人々に移り住みたいと願うまち。それが近未来の恵庭です！。

「えにわ花のまちづくりプラン NEXT STAGE」は、そんな花のまちづくりの将来像を目標として掲げます。



## プランの性格

えにわ花のまちづくりプランは、「市民の願いを集約し形にしたもの」であり、平成30年度から今後10年間の花のまちづくりを目指す行動指針です。絶対でもなく、強制でもない、できることから市民・行政・団体・企業それぞれの立場で行動していくことが重要であることから、計画の期日を定めないこととしています。「恵庭花のまちづくり推進会議」では、プランの推進を図るため、適宜進捗管理と検証を行います。

# 美しいまちで暮らそう。

市民・行政・団体・企業が花と緑を生かした環境を作りながら人をつなぎ、豊かな心を育むことでこのまちに暮らす人々が、幸せな時間をすごすことを目指します。

プランで目指す形と行うこと

美しい環境がある

## 【公共施設は市民の憩いの場】

- ・保育園・幼稚園・学校などに個性的な花環境をつくる、地域のガーデンと結んでいく
- ・まち並みと一体となった公園を整備する
- ・まちの玄関口を花で彩る
- ・美しいガーデンを整備する

## 【街路を美しく、自然環境を保全する】

- ・花と緑に囲まれたショップや飲食店、オフィスを整備する
- ・緑豊かなまちの骨格として街路樹・植樹柵を育む
- ・農村景観や防風林の価値と魅力を共有する
- ・地球に優しい花と緑の循環サイクルをつくる

## 【花のまちづくりの拠点がある】

- ・花のまちづくりの拠点をつくる
- ・花や緑に関する情報を常にいきいきと発信する

公共施設では、花のまちにふさわしいガーデンづくりを目指します。市民協働でコミュニティガーデンがつくられ、持続的に維持・管理されていきます。また、まち並みと緑の一体感を醸成するために、スポーツ施設や公共駐車場の緑化を進めます。



めぐみの丘(フレスポ恵み野)

JRの各駅や国道、高速道路ICなどまちの玄関口を花で飾り、おもてなしの気持ちを込めて「ウエルカムゾーン」を形成して、花のまちを印象づけます。



JR恵み野駅東口

ぎストリート



やオフィスを花と者や従業員にうるます。まちとの一体デザインのガイド行政・団体・企業のす。



## 【すべての人にやさしい花のまち】

ユニバーサルデザインのガーデンを整備する



花の拠点(平成32年完成予定)イメージ  
ニュージーランド・ティマル



花に惹かれて沢山の人が気軽に訪れ、ガーデニングに関する様々な情報に触れ、体験イベント等に参加できる楽しい場所をつくりたい。またそこは観光拠点でもあり、ガーデニングやまちづくりに関わる人が集い活動する拠点ともなります。花のまちづくりに関する知識や経験が豊富な人と、市民や市外からの来場者が触れ合い、つながることができる場です。

美しい街路樹は緑の骨格であり、まちの豊かさを表します。そのため季節ごとに魅力のある街路樹や植樹樹を保つために、適切な除草や宿根草・低木などの活用を進めます。また関係機関・団体と連携して、街路樹を美しく保つ意味や価値を一緒に学び、啓発にも取り組みます。



イチヨウの街路樹  
(恵み野団地中央通)

恵み野やすらぎ



ショップの店先  
緑で彩り、来店  
おいを提供しま  
感を演出する  
ラインを市民  
協働でつくりま

美しい人々がいる

## 【市民が花と緑に親しんでいる】

子どもたちが花と緑に親しむ環境をつくる  
花と緑で健康づくりを進める

## 【花と緑を通じた交流がさかん】

花や緑を通じて世代間の交流を図る  
誰もが安心して暮らすことができる環境を整える  
オープンガーデンを基盤のひとつにまちづくりを進める



親子で植栽  
JR恵み野駅西口植樹帯

遊びながら学びながら、子どもたちが幼少時から「花と緑に囲まれた恵庭」を体験的に受け入れて、まちへの愛情や誇り(シビックプライド)を醸成させる環境をつくりたい。

## 【市民に花のまちを目指すことが浸透している】

開放するこ  
々と花と緑  
ります。また  
、恵庭らしさ  
のひとつで  
らしい将来  
のあり方を、  
人々との自  
て方向づけ  
す。



- ・市民・団体・企業への意識啓発を実施する
- ・花に関する支援などの充実を図る
- ・花と緑に関する意見交流の場をつくる
- ・花を通じた社会マナーの向上を図る

## 【花と緑に詳しい人がいる】

- ・花と緑の人材育成を図る
- ・生産者と市民を結ぶ
- ・花団体を紹介する

## 【ボランティア活動が活発】

- ・ボランティア活動を推進する
- ・次世代を育成する



花と緑がかなえる世代間の交流やまちの活気を愛する、「花と緑のまち」の基盤になる人々を、市民・行政・団体・企業の協働によって継続的に育みます。



植栽活動 JR恵み野駅西口ロータリー  
北海道ハイテクノロジー専門学校留学生との協働

### フラワーマスターの勉強会



初心者からエキスパートまで、花と緑を学びたいと願う人々の期待に応える場を整えます。また、これまでの歩みを踏まえて、自分が得た情報やノウハウの共有を惜しまない、花のコンシェルジュと呼べる人々を育て、活躍の場を設けます。

ノウハウの共有や技術の研鑽、さらには花のまちづくりの議論まで、さまざまな意見が交わされる場をつくります。



ガーデナー交流会

自宅の庭を一定期間開放することにより、市内外の人々を通じて交流を図り、オープンガーデンは、まちづくりを形づくる重要な場となります。そのために恵み野のオープンガーデンのガーデナーや地域の住民による話し合いを通して、いくつもの場をつくります。



めぐみの庭めぐり



## 恵庭花のまちづくり推進会議 恵庭市

### えにわ花のまちづくりプラン

策定：平成 10 年3月(テーマ：花もよし、風もよし、人もよし、ここが恵庭)

改定：平成 20 年3月(テーマ：花もよし、風もよし、人もよし、ここが恵庭)

改定：平成 30 年3月(テーマ：美しいまちで暮らそう)

問  
合  
せ

恵庭市役所経済部花と緑・観光課

061-1498 恵庭市京町 1 番地

TEL : 0123-33-3131 FAX:0123-33-3137

e-mail:hanatomidori@city.eniwa.hokkaido.jp